

令和8年4月14日

関係各位

国土交通省 九州地方整備局 統括防災官

熊本地震から10年 ～記憶をつなぐ防災～

ショート動画のお知らせ

拝啓

平素より、国土交通行政並びに防災・減災の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、熊本地震から10年という節目にあたり、当時の被害の状況や、建設業界が一体となって取り組んだ応急復旧・復興対応を、多くの方々に分かりやすく伝えることを目的として、**ショート動画を作成いたしました。**

熊本地震の記憶と教訓を未来へとつなぐとともに、次なる災害に備えるため、日頃からの防災意識や事前の備えの重要性を、広く国民の皆さまにお伝えすることを目的としたものです。

誠に恐縮ではございますが、本趣旨をご理解いただき、**本動画の周知・拡散にご協力**いただきますよう、お願い申し上げます。

本動画を通じて、災害の教訓を社会全体で共有し、次の災害への備えを考える機会としていただければ幸いです。

本日、記者発表を行っておりますので、ご参照ください。

↓4/14 12:00 発表

[九州地方整備局 令和8年度 記者発表](#) 『熊本地震から10年 ～記憶をつなぐ防災～』

今後とも、防災・減災及び安全・安心な国土づくりの推進に、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

問い合わせ先：

<内容に関する事> 防災室 建設専門官 栗田耕一郎 電話：092-476-3544（防災室直通）

<取材に関する事> 総務部 建設専門官 鶴田尚樹 電話：092-476-3506（総務課直通）

熊本地震から 10 年 ～ 記憶をつなぐ防災 ～

熊本地震の対応・教訓を伝えるショート動画を公開します

2016年4月14日及び16日に、震度7を2回観測した熊本地震から、今年で10年を迎えます。

この節目にあたり、当時の被害の状況、国土交通省及び建設業の活動等を短い映像で分かりやすく伝えるショート動画を公開します。

この取り組みは震災対応の教訓を未来につなぐとともに、日頃からの備えの重要性を広く国民の皆さまにお伝えすることを目的としています。

動画を通じて、次の災害への備えを考える機会としていただければ幸いです。

■概要

- ・発災直後の状況・対応
- ・震災における建設業の活躍
- ・災害伝承の取組

などを、10本+αのショート動画に短く簡潔にまとめています。詳細は別紙をご覧ください。

■公開方法

令和8年4月14日から毎日1本(土日除く)新たな動画を公開します。

- ・公開場所：九州地方整備局 公式 Youtube チャンネル・公式 X ほか

YouTube : <http://www.youtube.com/channel/UCEWKod7UOTNrGseSRx2kcKA>

X : https://twitter.com/mlit_Kyushu

特設ページ : https://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/tecforce/index.html



YouTube



X



特設ページ

併せて、福岡第二合同庁舎(九州地方整備局)1階ロビーでは、熊本地震から10年～記憶をつなぐ防災～のパネル・動画展を開催中(4月28日迄)また、九州各地の道の駅でも関連動画をご視聴いただけます。(4月28日迄)

【問い合わせ先】

<内容に関すること>

防災室 建設専門官 栗田 耕一郎 電話：092-476-3544 (防災室直通)

<取材に関すること>

総務部総務課 建設専門官 鶴田 尚樹 電話：092-476-3506 (総務課直通)

熊本地震10年 ショート動画

～4/14(前震)から毎日1本ずつ投稿～

1. 震度7×2回、過去に例のない地震

- ⇒ 本震、余震という概念を覆す地震
- ・直ぐに同程度の地震が来る可能性あることへの注意喚起

✚ 『1回で終わり』と決めつけない 地震への備えをもう一度



2. 道路寸断の衝撃。緊急輸送路を確保せよ

- ⇒ 道路のリダンダンシーの重要性、迂回ルートの確保
- ・国土交通省の初動の紹介、24時間施工による道路啓開
- ・災害に強い道路ネットワークの構築

✚ 災害に強い道路ネットワークへ 未来の命を守るために



3. 阿蘇大橋崩落、断層にも耐えられる橋に挑む

- ⇒ 崩落の原因究明（地盤のズレ）と新たな構造
- ・土研や国総研などの研究者の活躍を紹介(構造に関する技術検討会)
- ・新しい阿蘇大橋の早期復旧(24時間施工、工期を短縮する施工技術)

✚ 教訓を技術に 技術を未来の安全へ



4. 河川堤防が損傷、復旧を急げ

- ⇒ 止めることができない河川を相手にした対応
- ・2ヶ月後には出水期(洪水期)への対応
- ・24時間施工による復旧作業

✚ 地域の安心・安全のために



5. 大規模斜面崩壊への挑戦

- ⇒ 阿蘇大橋周辺の段階的的施工（無人化施工を含む）
- ・早期着手及び安全・迅速な災害対応

✚ 災害に強い国土をめざして 技術の進化を続けます



6. 災害対応の技術革新

- ⇒ ・ 先端技術（ICT×無人化技術などの土木技術）での対応
- ・ 土木の魅力発信。第1回土木賞(2020年)。

✚ **災害に強い国づくりを**



7. あなたの家は大丈夫ですか？

- ⇒ ・ 被災の状況(家屋倒壊、建築物の応急危険度判定)
- ・ 視聴者に住宅等の耐震化の重要性を伝える

✚ **守れる命を、守るために**



8. 道の駅の活躍

- ⇒ ・ 熊本地震時の道の駅の活躍
(避難者の受け入れ、自衛隊の活動拠点、道路情報発信など)
- ・ 防災道の駅の取り組み紹介。

✚ **備えを未来へ**



9. TEC-FORCE、被災地に駆けつける

- ⇒ ・ 大規模災害時の活躍（全国から集結し、早期復旧を支援）
- ・ TEC-FORCE の増強、連携強化

✚ **大規模災害に備え 全ての力を結集**



10. 記憶を繋ぎ未来に備える

- ⇒ ・ 「熊本地震 記憶の廻廊」が NIPPON 防災資産の優良認定

✚ **誰もが安心して暮らせる未来へ 災害に強い国づくり**



////////////////////////////////////

《スペシャルエディション》：地域を守り・支える建設産業

- ⇒ ・ 初動対応の基礎となる道路啓開はもとより、復旧工法の検討から現場施工までを昼夜を問わず対応
- ・ 国を支え、地域を守る建設産業(測量/地質調査/コンサル/工事等)

✚ **平時から災害時の緊急対応まで
建設産業が国を 地域を支えています**

